



三木市財政健全化計画 取組実績報告書

令和5年度

2024（令和6）年8月
三木市総務部経営管理課

目 次

1 報告書の目的等	
(1) 市の財政健全化に向けた取組	3
(2) 報告書の作成の目的	3
(3) 報告書の構成	3
2 財政健全化の取組実績の概要	4
3 今後の財政収支の見通し（一般財源ベース）	6
巻末資料	
三木市財政健全化実施プログラム取組実績報告書（各個票）	9

1 報告書の目的等

(1) 市の財政健全化に向けた取組

本市においては、現下の財政状況を踏まえるとともに、市の将来を見据え、財政的にまだ体力のあるうちに財政健全化に向けた取組に着手し、将来にわたり持続可能な財政基盤を確立するため、2021（令和3）年11月に「三木市財政健全化方針」（以下「方針」という。）を策定し、今後の財政健全化の目標や基本的な取組を定めました。

更には、方針を踏まえ、2022（令和4）年11月には、財政健全化に向けた今後の具体的な実施計画となる「三木市財政健全化計画」（以下「計画」という。）を策定しました。

計画においては、2022（令和4）年度から2026（令和8）年度までの5年間を対象期間と定め、市財政の健全化に着実に取り組むこととしています。

(2) 報告書の作成の目的

計画においては、財政健全化対象事業について、毎年度の決算（実績）発表後にその内容を検証するとともに、その検証結果を毎年度、報告することとしています。

このたび、令和5年度の決算を受け、同年度の財政健全化の取組状況を取りまとめ、取組実績報告書として公表するものです。

(3) 報告書の構成

ア 取組実績の概要

財政健全化対象事業に係る個別具体の実施計画である「財政健全化実施プログラム」（以下「実施プログラム」という。）の各項目の取組による効果額を、計画と対比する形で記載しています。

イ 取組実績の詳細

実施プログラムに規定した令和5年度実施分の全ての取組項目の実績を、巻末資料として各個票で整理しています。

なお、各個票の令和5年度の取組効果額の算出に当たり、その比較対象については、計画では財政健全化の取組前の「令和3年度予算額」としていましたが、取組実績報告では「令和3年度決算額」としてしています。

2 財政健全化の取組実績の概要

令和5年度の財政健全化の取組項目及び取組による効果額を【表1】に示します。

「収入の確保」の取組項目のうち、例えば、「ふるさと納税（寄附金）」については、寄附金額10億円（実収入額5億円）の計画であったところ、国によるふるさと納税返礼品基準の見直しの影響があったものの、更なる事業者数の増加や新たな返礼品の開発などにより、実績は約8億6千万円（実収入額は約4億1千万円）となり、約9千3百万円の取組効果がありました。

「公共施設の再配置（統廃合）による跡地等の売却」については、旧三木幼稚園の敷地内に設置されていた国土地理院の電子基準点の撤去（国土地理院実施）が令和6年3月となったことにより、一般競争入札が令和6年度に後倒しとなりました。

収入全体の効果額は「117,552千円」となり、計画額「303,400千円」に対し、「185,848千円」減少しました。

また、「支出の見直し」の取組項目のうち、例えば、「準要保護児童・生徒への就学援助」について、計画では3百万円の効果額を見込んでいました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、2学期・3学期分の給食費の無償化を実施したため、学校給食費の就学援助が不要となったことから決算額が大きく減少し、実績では約2千6百万円の取組効果となりました。

支出全体の効果額は「▲290,797千円」となり、計画額「▲302,275千円」に対し、「11,478千円」減少しました。

これらを合わせた令和5年度の取組効果額は「▲408,349千円」となり、計画額「▲605,675千円」に対し、「197,326千円」減少しました。

【表1】財政健全化の取組実績の概要

(単位：千円)

計画の基本方針	財政健全化実施プログラムの名称等	対象の事業等	所管部署名	計画上の見直し分類	巻末個票の該当ページ	R5計画 A	R5実績 B	B-A
1 収入の確保	1 ふるさと納税の更なる推進	1 ふるさと納税（寄附金）	縁結び課	改善	P.10	200,000	93,033	▲ 106,967
		2 公共施設の再配置（統廃合）による跡地等の売却	財政課	改善	P.11	10,000	11,970	1,970
	2 市有財産（普通財産）の売却・処分	1 市有財産（普通会計）の売却	財政課	改善	P.12	50,000	0	▲ 50,000
		2 土地の貸与による賃貸料収入の確保	財政課	改善	P.13	11,400	3,550	▲ 7,850
3 各種使用料、手数料及び占用料の見直し	1 各種使用料・占用料の見直し	全部署	料金の値上げ	P.14	—	—	—	
	2 各種手数料の見直し	全部署	料金の値上げ	P.15	—	—	—	
4 市税の徴収率の向上	1 市税の徴収率の向上	税務課・債権管理課	改善	P.16	32,000	8,999	▲ 23,001	
「収入の確保」の効果額 小計						303,400	117,552	▲ 185,848

計画の基本方針	財政健全化実施プログラムの名称等	対象の事業等	所管部署名	計画上の見直し分類	巻末個票の該当ページ	R5計画 A	R5実績 B	B-A	
2 支出の見直し	1 各種イベントの見直し	1 健康づくりの集い	健康増進課	廃止	P.17	▲ 500	▲ 500	0	
		2 協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し	議会事務局	廃止	P.18	▲ 30	▲ 30	0	
	2 協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し	2 全国婦人相談員連絡協議会分担金	人権推進課	廃止	P.19	▲ 8	▲ 3	5	
		3 研修参加負担金	子育て支援課	休止	P.20	▲ 6	▲ 6	0	
		4 外国人救急医療費損失負担金	健康増進課	廃止	P.21	▲ 16	▲ 16	0	
		5 視察研修負担金	商工振興課	廃止	P.22	▲ 8	▲ 8	0	
		6 兵庫県物産協会会費	観光振興課	廃止	P.23	▲ 27	▲ 27	0	
		7 視察研修負担金	ゴルフのまち推進課	廃止	P.24	▲ 16	▲ 16	0	
		8 三木自家用自動車協会安全運転管理責任者部会費	消防本部	廃止	P.25	▲ 4	▲ 4	0	
		9 全国ICT教育首長協議会会費	学校教育課	廃止	P.26	▲ 10	▲ 10	0	
		10 北播磨給食施設協議会負担金	教育施設課	廃止	P.27	▲ 30	▲ 30	0	
		3 時代の変化に応じた事務改善	1 職員の情報端末（パソコン）の調達方法の見直し	デジタル推進課	改善				
	2 スズメバチの巣の駆除		生活環境課	縮小	P.28	▲ 1,000	▲ 1,630	▲ 630	
	4 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	1 業務用レーザープリンタの設置及び維持管理	デジタル推進課	台数の削減	P.29	0	▲ 627	▲ 627	
		2 災害時安否確認システム	危機管理課	改善	P.30	▲ 1,200	▲ 1,214	▲ 14	
	5 人件費の抑制・削減	1 時間外勤務手当（正規職員）	総務課	改善	P.31	▲ 14,000	19,008	33,008	
		2 旅費（出張時の日当）（特別職を含む。）	総務課	縮小	P.32	▲ 800	6,568	7,368	
		3 職員の福利厚生事業	総務課	改善	P.33	▲ 700	▲ 2,318	▲ 1,618	
	6 国民健康保険特別会計の健全化	1 一般会計から国民健康保険特別会計への赤字補填のための繰出金	財政課・医療保険課	廃止	P.34	▲ 190,000	▲ 194,488	▲ 4,488	
	7 移住・定住促進施策の見直し	1 UIターン住宅取得助成金	縁結び課	統合	P.35	▲ 15,000	▲ 12,950	2,050	
	8 公共施設の再配置の推進	1 公共施設再配置の推進による維持管理費	各所管課	縮小	P.36	▲ 5,000	776	5,776	
	9 ごみ処理関連施策の見直し（ごみの有料化など）	1 一般廃棄物処理手数料（ごみ処理手数料）	環境課	料金の値上げ	P.37	—	—	—	
	10 時代の変化に応じた高齢者福祉施策の整理、見直し	1 敬老祝金	福祉課	縮小	P.38	▲ 9,500	▲ 9,893	▲ 393	
		2 敬老会開催費補助金	福祉課	継続（手法の見直し）					
	11 外出・移動支援施策及び公共交通確保施策の整理、見直し	1 高齢者への温泉施設等利用助成	福祉課	廃止	P.39	▲ 11,000	▲ 8,731	2,269	
		2 運転免許証自主返納者への公共交通利用助成券の交付	福祉課	縮小	P.40	▲ 14,000	▲ 16,280	▲ 2,280	
		3 北播磨総合医療センターへの通院時の神戸電鉄利用補助金	交通政策課	廃止	P.41	▲ 1,000	▲ 343	657	
	12 生活の支援施策の整理、見直し	1 軽度生活支援事業	介護保険課	廃止	P.42	▲ 1,200	▲ 1,177	23	
	13 障害者福祉施策の整理、見直し	1 市民福祉年金	障害福祉課	廃止					
		2 障害者馬術大会開催補助金	障害福祉課	継続（手法の見直し）	P.43	▲ 120	▲ 120	0	
		3 特別支援学校就学児童の保護者への就学奨励金（養護児童就学奨励金）	子育て支援課	廃止	P.44	▲ 2,000	▲ 2,134	▲ 134	
	14 観光施策の整理、見直し	1 古民家の利活用推進（古民家ウエディング等のイベント）	観光振興課	廃止	P.45	▲ 500	▲ 429	71	
		2 あじさいフローラみきのオープニングセレモニー	観光振興課	継続（手法の見直し）	P.46	▲ 700	▲ 571	129	
	15 農業振興施策（補助金等）の見直し	1 山田錦グレードアップ支援補助金	農業振興課	廃止（転換）	P.47	▲ 13,000	▲ 13,814	▲ 814	
	16 社会教育の在り方見直し	1 社会教育推進委員謝礼	人権推進課	廃止	P.48	▲ 500	▲ 582	▲ 82	
	17 就学・通学の支援に係る各種施策の整理、見直し	1 準要保護児童・生徒への就学援助	学校教育課	縮小	P.49	▲ 3,000	▲ 26,682	▲ 23,682	
		2 中学校自転車通学者への自転車保険補助金	教育施設課	廃止	P.50	▲ 400	▲ 321	79	
	18 就学前教育・保育の応益・応能負担の見直し	1 認可外保育所保育料軽減補助金	教育・保育課	縮小	P.51	▲ 4,200	▲ 7,539	▲ 3,339	
		2 特定世帯の保育料軽減（ひょうご保育料軽減補助金）	教育・保育課	縮小	P.52	▲ 5,000	▲ 7,550	▲ 2,550	
	19 国や県等の事業見直しに伴う市事業の見直し	1 老人クラブ活動強化推進事業補助金	福祉課	縮小	P.53	▲ 400	▲ 396	4	
		2 高齢者等住宅改造助成金	介護保険課	縮小	P.54	▲ 2,000	▲ 2,445	▲ 445	
		3 特定不妊治療費助成金	健康増進課	廃止	P.55	▲ 5,000	▲ 3,761	1,239	
4 後期高齢者医療制度対象者の人間ドック利用助成金		医療保険課	縮小	P.56	▲ 400	▲ 504	▲ 104		
「支出の見直し」の効果額 小計						▲ 302,275	▲ 290,797	11,478	

注1) 「収入の確保」における効果額は、支出減におけるマイナスと同義であるため、マイナスに置き換えて集計。

注2) 黒色の網掛け部分は、令和5年度に取組まない項目。

効果額 合計 **▲ 605,675** **▲ 408,349** **197,326**

3 今後の財政収支の見通し（一般財源ベース）

令和5年度の財政健全化の取組実績の報告と併せ、同年度の決算を踏まえた今後の中長期の財政収支の見通しを【表2】に示します。

この収支見通しは、財政状況をより現状に即した形で把握するため、令和5年8月の取組実績報告時（令和4年度）に作成したものを、直前年度の決算を踏まえて時点修正したものです。

令和5年度決算においては、地方交付税（基準財政需要額）の算定における高齢者の単価増や国税収の上振れに伴う追加交付、臨時財政対策債の後年度償還分が前倒しで交付されたことなどによる地方交付税額の増額等に伴い歳入の増加が歳出の増を上回りました。

この結果、令和4年度に引き続き、赤字補填のための財政基金を取り崩さずに黒字決算となるとともに、基金残高も増加しました。

しかしながら、こうした歳入の増加は国税収の上振れが主な要因であり、今後もこの傾向が継続するか否かは不透明な状況です。

一方、歳出は、物価高騰や人件費の上昇などにより、財政健全化に取り組んでいるにもかかわらず想定よりも増加しています。今後、さらなる物価高騰や人件費の上昇に加え、次期ごみ処理施設や中央公民館等複合施設、ひょうご情報公園都市次期工区等の大型事業の整備が本格化することにより、歳出が歳入を大きく上回り、基金の減少が急速に進むことが見込まれます。

このため、大型事業の事業費縮減を検討するとともに、計画対象期間の中間年度である令和6年度決算をベースに計画の中間評価を行い、財政健全化の取組継続（次期計画策定）について判断する必要があります。

また、このたびの財政健全化の取組については、単に「財政が厳しいから」という視点だけでなく、社会経済情勢や各種制度の変化等を十分に見定めた上で、事業の目的や必要性、その効果等を検証し、事業の見直しを進めています。

これらの見直しを行う一方、見直しにより生じた財源を活用し、将来のまちづくりに必要となる新たな施策を推進することで、将来にわたりまちの活力を保ち続けるとともに、財政収支の均衡も図っています。

令和5年度の決算収支は同年度の財政健全化による取組効果額を含んだものであり、かつ、令和6年度以降の収支見通しは令和5年度決算をベースに時点修正しています。

このため、令和5年度の財政健全化による取組効果額は令和6年度以降の収支見通しにも反映されていることとなります。

以上を踏まえ、令和6年度以降の「財政健全化による取組効果額」欄の金額は、計画で見込んだ当初の効果額から令和5年度の実績額（実績額408百万円）を差し引いた額を計上しています。

【表2】今後の財政収支の見通し（一般財源ベース）

区 分	← 財政健全化対象期間（計画対象期間） [R4~R8] →															
			←決算額						決算見込額→						(単位：百万円)	
	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)		
市税	11,304	11,251	11,464	11,438	11,139	11,424	11,414	11,320	11,312	11,305	11,214	11,208	11,203	11,111		
地方交付税等	6,176	7,556	6,439	6,784	6,484	6,312	6,165	6,200	6,123	6,106	6,111	6,190	6,222	6,212		
その他収入	3,491	4,094	4,455	4,169	4,371	3,637	3,628	3,628	3,628	3,628	3,628	3,924	3,628	3,628		
歳入 計	20,971	22,901	22,358	22,391	21,994	21,373	21,207	21,148	21,063	21,039	20,953	21,322	21,053	20,951		
人件費	5,551	5,531	5,457	5,547	5,688	5,682	5,634	5,686	5,627	5,632	5,639	5,684	5,664	5,612		
扶助費	2,172	2,059	2,184	2,218	2,240	2,263	2,263	2,263	2,263	2,263	2,263	2,263	2,263	2,263		
公債費	3,190	3,564	3,551	3,663	3,595	3,550	3,587	3,670	3,592	3,663	3,705	3,903	4,136	4,120		
投資的経費	507	335	597	459	530	812	614	1,378	1,257	836	1,610	573	465	445		
その他	10,178	10,589	10,611	10,423	10,520	10,772	10,366	10,414	10,103	10,169	10,223	10,262	10,359	10,372		
物件費	3,725	3,727	3,926	3,943	4,010	4,180	3,993	3,972	3,945	3,951	4,106	4,124	4,198	4,189		
補助費等	3,704	3,348	3,708	3,415	3,501	3,733	3,493	3,493	3,181	3,181	3,181	3,181	3,181	3,181		
積立金	34	452	501	343	222	20	20	20	20	20	20	19	19	19		
繰出金	2,635	2,811	2,413	2,645	2,666	2,687	2,708	2,729	2,751	2,773	2,795	2,817	2,840	2,862		
その他	80	251	63	77	121	152	152	200	206	244	121	121	121	121		
歳出 計	21,598	22,078	22,400	22,310	22,573	23,079	22,464	23,411	22,842	22,563	23,440	22,685	22,887	22,812		
歳入歳出差引	△ 627	823	△ 42	81	△ 579	△ 1,706	△ 1,257	△ 2,263	△ 1,779	△ 1,524	△ 2,487	△ 1,363	△ 1,834	△ 1,861		
財政健全化による取組効果額					△ 223	△ 232	△ 301	△ 301	△ 301	△ 301	△ 301	△ 301	△ 301	△ 301		
歳入歳出差引（再計）	△ 627	823	△ 42	81	△ 356	△ 1,474	△ 956	△ 1,962	△ 1,478	△ 1,223	△ 2,186	△ 1,062	△ 1,533	△ 1,560		
基金残高（全基金）	5,362	6,051	6,462	6,792	7,157	6,203	5,768	4,328	3,371	2,667	1,002	458	△ 555	△ 1,597		

注）「歳入歳出差引」欄の金額は、基金繰入れ前のもの

三木市財政健全化実施プログラム
取組実績報告書（各個票）

令和5年度実施分

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
1	収入の確保	1	ふるさと納税の更なる推進

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち実収入額	見込額 うち実収入額		
1 ふるさと納税（寄附金）	総合政策部	収入	614,107	1,000,000	改善	寄附者の獲得に向けた周知・PRや、ふるさと納税向け商品の事業者との共同開発などのさまざまな取組により、令和4年度は寄附金額8億円（実収入額4億円）、令和5年度以降は継続して寄附金額10億円（実収入額5億円）をめざして取り組む。
	縁結び課		317,455	500,000		

（単位：千円）

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	実績	208,885	93,033			
見直し後 決算額		968,554	864,910			
うち実収入額		526,340	410,488			
取組内容 （今後の方針）		<ul style="list-style-type: none"> 寄附受付サイトを新たに4サイト導入し、合計12サイトとした。 返礼品事業者数は15社増加し計159社に、返礼品数は91品目増加し計747品目となった。 春高・春中ゴルフキャラクターの漫画「オーイ!とんぼ」と共同制作したゴルフボールを新規返礼品とし、全体の返礼品件数の約3割を占めるなど、特に人気となっている。 返礼品開発支援事業を開始し、魅力ある返礼品開発を調達するため「ふるさと納税型クラウドファンディング」を活用し、事業者の返礼品開発を支援した（申請社数：5社）。 地域再生計画に記載されている事業に対して、市外企業からの寄付を募った。（寄付件数：7件。寄付額：30,300千円） 	<ul style="list-style-type: none"> 寄附受付サイトを新たに2サイト導入し、合計14サイトとした。 返礼品事業者は32社増加し、191社、返礼品数は357品目増加し1,104品目となった。 魅力ある返礼品を増やすため、昨年引き続きふるさと納税型クラウドファンディング制度を活用した返礼品開発支援事業を実施した（申請社数：3社）。 新たに返礼品開発コンテスト事業を実施し、地場産業である三木金物を活用した返礼品開発コンテストを実施し、市ふるさと納税のPRと開発を合わせて行った（申請者数：20名 34作品）。 地域再生計画に記載されている事業に対して、市外企業からの寄付を募った。（寄付件数：8件。寄付額：39,200千円） 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
1	収入の確保	2	市有財産（普通財産）の売却・処分

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち実収入額	見込額 うち実収入額		
1 市有財産（普通財産）の売却	総務部	収入	売却は単発的であるため、見直し前と比較しない。	10,000	改善	市有財産（普通財産）の積極的な売却を進める。
	財政課			10,000		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績	5,233	11,970			
見直し後 決算額		5,233	11,970			
うち実収入額		5,233	11,970			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は次のとおり売却した。 末広1丁目の1筆、54.24㎡ 吉川町湯谷の7筆、計282.07㎡ 吉川町湯谷の3筆、計406.96㎡ 吉川町畑枝の4筆、計502.58㎡ 吉川町福井の4筆、計1,466.00㎡ 上記以外に、次の取組を実施した。 土地の売却に向け、境界確定・分筆・地目変更等の整理を実施（自由が丘本町2丁目の2筆、計333.93㎡）。 過去から販売中の土地の価格を見直し（別所町朝日ヶ丘の5筆、計1,579.99㎡）。 令和5年度においても、売却可能な未利用財産の処分を積極的に進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は次のとおり売却した。 【土地】 吉川町吉安の1筆、75.43㎡ 自由が丘本町2丁目の2筆、計333.93㎡ 志染町大谷の1筆、79.44㎡ 細川町垂穂の1筆、5.60㎡ 上記以外に、次の取組を実施した。 【閉校物品】 グランドピアノ 2台、670千円 中吉川小学校・上吉川小学校の物品 400千円 令和6年度においても、売却可能な未利用財産の処分を積極的に進めていく。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
1	収入の確保	2	市有財産（普通財産）の売却・処分

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち実収入額	見込額 うち実収入額		
2 公共施設の再配置（統廃合） による跡地等の売却	総務部	収入	売却は単発的であるため、見直し前と比較しない。	50,000	改善	公共施設の再配置による跡地等の売却を進める。 売却予定地として、旧上吉川幼稚園、旧三木幼稚園、旧吉川保育所、デイサービスセンターひまわり、旧加佐西農作業所及び広野幼稚園を見込む。
	財政課			50,000		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	50,000	0	0	50,000
	実績	0			
見直し後	決算額	0			
	うち実収入額	0			
取組内容 (今後の方針)	見直し年度	令和5年度～			
		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は土地建物の売却に向け、不動産鑑定、測量及び境界確定などを実施した。 ①旧上吉川幼稚園 (アフタースクール) 土地2915.88㎡ 園舎(延床面積)392.00㎡ ②旧三木幼稚園 土地3517.20㎡ 園舎(延床面積)739.66㎡ 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
1	収入の確保	2	市有財産（普通財産）の売却・処分

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち実収入額	見込額 うち実収入額		
3 土地の貸与による賃貸料収入の確保	総務部	収入	1,646	13,000	改善	学校再編に伴う閉校跡地（旧中吉川小学校及び旧上吉川小学校）の活用による賃貸料収入を見込む。
	財政課		1,646	13,000		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	11,400	11,400	11,400	11,400
	実績	3,550			
見直し後	決算額	5,196			
	うち実収入額	5,196			
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新規賃貸料】 令和5年度（閉校跡地）活用 ・旧中吉川小学校 R5.11月～賃貸借契約書により 民間企業への賃貸開始（10年間） 月額597,300円 ・【令和6年度予定】 ・旧上吉川小学校 R6.4月～賃貸借契約書により 民間企業への賃貸開始（10年間） 月額394,900円 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
1	収入の確保	3	各種使用料、手数料及び占用料の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち実収入額	見込額 うち実収入額		
1 各種使用料・占用料の見直し		収入	266,698		料金の値上げ（受益者負担の増）	各種料金の見直しに当たっての市の考え方を明確にするため、見直し方針を策定する。 その後、各種料金の見直しに着手し、令和5年10月から見直し後の新料金体系による運用を開始する。
	全部署		266,698			

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	見直し方針を別途策定し、見直しを検討			
	実績	-			
見直し後	決算額				
	うち実収入額				
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に掲げる事情を考慮し、次のとおり料金改定時期を変更した上で見直しを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ○変更前 令和5年10月 ○変更後 令和6年4月 ①料金の見直しにより影響を受ける市民生活に考慮し、適正料金となるよう十分検討する必要があることから、当初想定していたよりも見直し作業に時間を要した。 ②市民への十分な周知期間を確保する必要がある。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
1	収入の確保	3	各種使用料、手数料及び占用料の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち実収入額	見込額 うち実収入額		
2 各種手数料の見直し		収入	186,117		料金の値上げ（受益者負担の増）	各種料金の見直しに当たっての市の考え方を明確にするため、見直し方針を策定する。 その後、各種料金の見直しに着手し、令和5年10月から見直し後の新料金体系による運用を開始する。
	全部署		186,117			

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	見直し方針を別途策定し、見直しを検討			
	実績	—			
見直し後	決算額				
	うち実収入額				
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に掲げる事情を考慮し、次のとおり料金改定時期を変更した上で見直しを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ○変更前 令和5年10月 ○変更後 令和6年4月 ①料金の見直しにより影響を受ける市民生活に考慮し、適正料金となるよう十分検討する必要があることから、当初想定していたよりも見直し作業に時間を要した。 ②市民への十分な周知期間を確保する必要がある。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
1	収入の確保	4	市税の徴収率の向上

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち実収入額	見込額 うち実収入額		
1 市税の徴収率の向上	総務部	収入	11,251,144	11,076,000	改善	現年課税分の市税徴収率（99.0%）を県下平均並み（99.2%）に引き上げる（+0.2%）。 また、滞納繰越分の市税徴収率（23.9%）を県下平均並み（26.7%）に引き上げる（+2.8%）。
	税務課 債権管理課		11,251,144	11,076,000		

（単位：千円）

		R4	R5	R6	R7	R8	
効果額	計画	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	
	実績	42,455	8,999				
見直し後 決算額		11,464,407	11,438,038				
うち実収入額		11,464,407	11,438,038				
取組内容 （今後の方針）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 納付方法の追加（d払いを追加）。 ・ 市外転出者に対する財産調査の強化（徹底した地方金融機関への調査等の実施）。 ・ 現年課税分の市税徴収率99.1%（目標値よりも0.1%下回る。） ・ 滞納繰越分の市税徴収率34.6%（目標値よりも7.9%上回る。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインを活用した財産調査の迅速化による差押強化。 ・ 現年課税分の市税徴収率99.0%（目標値よりも0.2%下回る。） ・ 滞納繰越分の市税徴収率27.6%（目標値よりも0.9%上回る。） 	<p>◎令和5年度の効果額（実績）の算出方法 次のとおり、徴収率の向上によるもの以外の要因を除き算出。</p> <p>【現年課税分の効果額】 11,460,838千円（R5調定済額）×99.0%（見直し前数値）=11,346,230千円 11,344,805千円（R5収入済額）－11,346,230千円＝▲1,425千円・・・①</p> <p>【滞納繰越分の効果額】 284,775千円（R5調定済額）×23.9%（見直し前数値）=68,061千円 78,485千円（R5収入済額）－68,061千円＝10,424千円・・・②</p> <p>【効果額の計（①+②）】 ▲1,425千円＋10,424千円＝8,999千円</p>			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	1	各種イベントの見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 健康づくりの集い	健康福祉部	支出	0	0	廃止	新型コロナウイルス禍における「新しい生活様式」に即した事業展開を検討するため、「イベント型」としての事業は廃止する。 それに代わり、地域に向いた少人数の健康教室の開催やホームページ等を活用した健康情報の発信、健康アプリ（健康ポイント）を活用した自主的な健康づくり活動を推進していく。
	健康増進課		0	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 500	▲ 500	▲ 500	▲ 500	▲ 500
	実績	▲ 500	▲ 500			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 地区への健康教育実績：24回、496人 みっきい☆健康アプリ：登録者数3,834人(R5.3月末) ホームページによる啓発：感染症対策、食育推進、生活習慣病予防、熱中症予防、たばこ対策等 ※既存事業（ヘルシーウォーク事業・地区健康教育等）を地域へ積極的に展開していくことに対応。保健師・栄養士は、原則として市専門職で対応。	<ul style="list-style-type: none"> 地区への健康教育実績：31回、602人 みっきい☆健康アプリ：登録者数6,156人(R6.3月末) ホームページによる啓発：感染症対策、食育推進、生活習慣病予防、熱中症予防、たばこ対策等 ※既存事業（ヘルシーウォーク事業・地区健康教育等）を地域へ積極的に展開していくことに対応。保健師・栄養士・歯科衛生士は、原則として市専門職で対応。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 三木防犯協会分担金		支出	30	0	廃止	市の他部署から協会への同一趣旨の負担金支出があるため、廃止する。
	議会事務局		30	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 30
	実績	▲ 30	▲ 30			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 全国婦人相談員連絡協議会分 担金	市民生活部	支出	3	0	廃止	協議会に加入していない自治体もあるため、廃止する。
	人権推進課		3	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 8
	実績	▲ 3	▲ 3			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
3 研修参加負担金	健康福祉部	支出	0	0	休止	近年に研修参加の実績がないため、休止する。
	子育て支援課		0	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 6	▲ 6	▲ 6	▲ 6	▲ 6
	実績	▲ 6	▲ 6			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画どおり休止を実施。 ・ これまでは児童センター職員のスキルアップのために参加する研修費用を予算措置していたが、現在は兵庫県児童館連絡協議会が実施する研修に参加することで職員のスキルアップを図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画どおり廃止を実施。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
4 外国人救急医療費損失負担金	健康福祉部	支出	0	0	廃止	市の他部署に別事業（行旅病人・死亡人取扱事業）があることや支出実績もないことから、廃止する。
	健康増進課		0	0		

（単位：千円）

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 16	▲ 16	▲ 16	▲ 16	▲ 16
	実績	▲ 16	▲ 16			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
5 視察研修負担金	産業振興部	支出	0	0	廃止	近年に視察研修の実績がないため、廃止する。
	商工振興課		0	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 8
	実績	▲ 8	▲ 8			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
6 兵庫県物産協会会費	産業振興部	支出	27	0	廃止	協会に加入していない近隣市が多く、また、事業者向けの事業がほとんどで、市が特産品や観光情報を紹介する機会も少なく、事業効果を期待できないため、廃止する。
	観光振興課		27	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 27	▲ 27	▲ 27	▲ 27	▲ 27
	実績	▲ 27	▲ 27			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
7 視察研修負担金	産業振興部	支出	0	0	廃止	近年に視察研修の実績がないため、廃止する。
	ゴルフのまち 推進課		0	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 16	▲ 16	▲ 16	▲ 16	▲ 16
	実績	▲ 16	▲ 16			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
8 三木自家用自動車協会安全運転管理責任者部会費		支出	4	0	廃止	消防業務と直接的な関与がないため、廃止する。
	消防本部		4	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 4	▲ 4	▲ 4	▲ 4	▲ 4
	実績	▲ 4	▲ 4			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
9 全国ICT教育首長協議会会費	教育振興部	支出	10	0	廃止	本市において1人1台のタブレット端末整備が完了しており、協議会から退会しても大きなデメリットはないため、廃止する。
	学校教育課 (教育センター)		10	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 10	▲ 10	▲ 10	▲ 10	▲ 10
	実績	▲ 10	▲ 10			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	2	協会等への会費（負担金等を含む。）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
10 北播磨給食施設協議会負担金	教育総務部	支出	30	0	廃止	学校給食に特化した研修会が他にも多くあり。協議会から退会したとしても不利益を受けないため、廃止する。
	教育施設課		30	0		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 30
	実績	▲ 30			
見直し後	決算額	0			
	うち一般財源	0			
取組内容 (今後の方針)	見直し年度	令和5年度～			
		・計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	3	時代の変化に応じた事務改善

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 スズメバチの巣の駆除	市民生活部	支出	2,305	1,000	縮小	スズメバチの巣の駆除については、市民からの依頼により市が業者に委託して行ってきたが、本来、家屋等の管理者（所有者）の責任で駆除すべきものであるため、令和4年度からは市が駆除するのではなく、市民が業者に依頼して駆除した場合に、市から15,500円を補助する仕組みに変更する。 また、令和4年度及び令和5年度の実績に基づき、事業効果及び必要性を改めて検討する。
	生活安全課 (生活環境課)		2,305	1,000		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 1,000
	実績	▲ 816	▲ 1,630			
見直し後 決算額		1,489	675			
うち一般財源		1,489	675			
取組内容 (今後の方針)		・スズメバチの巣を駆除する者に対し、駆除に係る費用の一部を補助した（補助件数：99件）。	・スズメバチの巣を駆除する者に対し、駆除に係る費用の一部を補助した（補助件数：46件）。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	4	自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
業務用レーザープリンターの 設置及び維持管理	総合政策部	支出	11,172	6,000	台数の 削減	複合機との統合や庁内業務のデジタル化に伴うペーパーレス化の推進により、業務用レーザープリンターの台数及び維持管理費の削減を図る。
	デジタル推進課		11,172	6,000		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	0	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 2,000
	実績	▲ 627			
見直し後	決算額	10,545			
	うち一般財源	10,545			
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合機の統合やペーパーレス化の推進により、業務用レーザープリンターの台数削減を前倒して実施。 削減台数12台 (125台→113台) 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	4	自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 災害時安否確認システム	総合政策部	支出	1,324	100	改善	現在、三木防災メール（メール）及び防災緊急通知システム（電話・FAX）をそれぞれ運用しているが、新たな緊急情報伝達システム（メール・電話）に統合し、費用を抑えつつ的確に災害情報等を発信できるよう見直す。
	危機管理課		1,324	100		

（単位：千円）

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	1,000	▲ 1,200	▲ 1,200	▲ 1,200	▲ 1,200
	実績	2,036	▲ 1,214			
見直し後 決算額		3,360	110			
うち一般財源		3,360	110			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 新たな緊急情報伝達システムを導入した。 令和5年4月から新システムを稼働した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月から新システムが稼働した。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	5	人件費の抑制・削減

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 時間外勤務手当 (正規職員)	総務部	支出	237,709	240,000	改善	職員の心身の健康の保持並びに仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のより一層の推進のため、市を挙げて時間外勤務の削減に取り組む。
	総務課 (※取組は全部署)		228,233	240,000		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8	
効果額	計画	▲ 10,000	▲ 14,000	▲ 17,000	▲ 19,000	▲ 20,000	
	実績	▲ 7,508	19,008				
見直し後 決算額		227,282	253,383				
うち一般財源		220,725	247,241				
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は毎週水曜日のノー残業デーに加え、8月及び10月を「働き方改革強化月間」として毎週金曜日にもノー残業デーに設定するなど、時間外勤務の縮減を図った。 その結果、令和4年度は令和3年度と比較し、特殊事業による時間外勤務を除き、1,365時間を縮減した（一般会計職員ベース）。 令和5年度以降も引き続き「働き方改革強化月間」（7月～9月の3か月間）を設けるとともに、更なる時間外勤務の縮減のため、業務内容を再点検し、ICTの利活用やデジタル化の導入による業務改善・業務効率化を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度も令和4年度に引き続き毎週水曜日のノー残業デーに加え、7月から9月までを「働き方改革強化月間」として毎週金曜日にもノー残業デーに設定し、時間外勤務の縮減を図った。 一方、令和5年5月からの新型コロナウイルス感染症の5類移行後、イベント等が再開したことに伴い、特殊事業を除く時間外勤務は8,544時間増加した（一般会計職員ベース）。 令和6年度以降も引き続き「働き方改革強化月間」を設けるとともに、ICTの利活用やデジタル化による業務改善及び業務の効率化を図っていく。 なお、コロナ禍前（平成30年度・令和元年度決算額の平均287,360千円）に比べ、令和5年度決算額は33,977千円減少している。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>◎時間外勤務手当の考え方</p> <p>特殊事情による時間外勤務手当の年度間の金額の上下をできるだけ排除するため、次に掲げる臨時的な事務に要した金額は含めていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害（台風など）の発生により生じた避難所開設等の対応事務 ・選挙執行（期日前投票や選挙当日の投票票など）に係る応援事務 ・新型コロナウイルスワクチン接種事務 ・臨時特別給付金交付事務 ・各種統計調査（数年に一度実施される調査）に係る事務 </div>			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	5	人件費の抑制・削減

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 旅費（出張時の日当） （特別職を含む。）	総務部	支出	4,701	17,900	縮小	国家公務員の日当支給に準拠する。 ・国内出張について「全額支給」を廃止し、「2分の1支給」に改める。 ・日当の無支給地域を拡大する。 ・一般職の日当金額2,600円を2,200円に引き下げる。
	総務課 （※取組は全部署）		4,701	17,900		

（単位：千円）

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画		▲ 800	▲ 800	▲ 800
	実績		6,568		
見直し後	決算額	11,269			
	うち一般財源	11,269			
取組内容 （今後の方針）		見直し年度 令和5年度～			
		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月より、計画どおり職員等の旅費の見直しを行い、旅費の削減を図った。 また、ICTを活用し、オンライン会議等を行うことにより、コロナ禍前に比べ、出張機会を減らしている。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、研修等の出張が制限されていたことから、決算額が大きく減少している。 なお、コロナ禍前（平成30年度・令和元年決算額の平均14,263千円）に比べ、令和5年度決算額は2,994千円減少している。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	5	人件費の抑制・削減

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
3 職員の福利厚生事業	総務部	支出	2,845	2,100	改善	職員の福利厚生事業を民間の福利厚生サービス事業者に委託していたが、利用率も低いことから、費用対効果の高い手法に改善する。
	総務課		2,845	2,100		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 700	▲ 700	▲ 700	▲ 700	▲ 700
	実績	▲ 2,441	▲ 2,318			
見直し後 決算額		404	527			
うち一般財源		404	527			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果を向上させるため、民間事業者への委託を廃止し、職員の福利厚生事業への取組に係る費用に対し、直接助成金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該助成金の制度内容 職員の健康維持を目的として、職員が予防健診やインフルエンザワクチン接種等を受けた場合に、その費用について2千円を上限に助成。 対前年度比で61名増加。 令和5年度実績 265名 令和4年度実績 204名 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	6	国民健康保険特別会計の健全化

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
一般会計から国民健康保険特別会計への赤字補填のための繰出金（国民健康保険特別会計の健全化）	総務部 財政課	支出	194,488	0	廃止	「三木市国民健康保険財政健全化計画」に基づき、国民健康保険特別会計の赤字を解消することにより、赤字補填としての一般会計からの繰出金を廃止する。
	健康福祉部 医療保険課		194,488	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	0	▲ 190,000	▲ 190,000	▲ 190,000	▲ 190,000
	実績	▲ 194,488	▲ 194,488			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 「三木市国民健康保険財政健全化計画」に基づき、次のとおり国民健康保険税率を見直した。 所得割 10.8% → 12.5% 均等割 42,000円 → 52,000円 平等割 33,000円 → 37,000円 国民健康保険特別会計について、令和4年度は単年度赤字が生じる見込であったが、兵庫県が県基金や剰余金の一部を納付金の財源として投入するなど、当初に想定していなかった県の施策により、市が負担する納付金の見込が計画策定時よりも大きく減少したことから、前倒して単年度黒字となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「三木市国民健康保険財政健全化計画」に基づき、次のとおり国民健康保険税率を見直した。 所得割 12.5% → 12.8% 均等割 52,000円 → 57,000円 平等割 37,000円 → 35,000円 国民健康保険特別会計について、県の示す標準保険税率と同水準の適用税率としたことにより、計画どおり、赤字補てん目的の法定外繰入は0円となった。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	7	移住・定住促進施策の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 UIJターン住宅取得助成金	総合政策部	支出	12,950	0	統合	国の制度改正に合わせ、新婚世帯の新生活にかかる費用の補助に市独自施策のUIJターン住宅取得支援事業を統合することで更なる若者の定住及び市内への転入を促進するとともに、市の負担軽減を図る。
	縁結び課		12,950	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 15,000	▲ 15,000	▲ 15,000	▲ 15,000	▲ 15,000
	実績	▲ 12,950	▲ 12,950			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり統合を実施。	・ 計画どおり統合を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	8	公共施設の再配置の推進

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
公共施設再配置の推進による 維持管理費 (本計画対象期間中の9施設 分)	各所管課	支出	39,818	0	縮小	「三木市公共施設再配置計画」に基づき、令和4年度から令和8年度までの本計画対象期間中において、9施設の廃止又は集約化による統合などを行う。 それに伴い、施設の維持管理費が減少する。 【本計画対象期間中の9施設】 三木幼稚園、勤労者体育センター、デイサービスセンターひまわり、 緑が丘東幼稚園、広野幼稚園、みの川会館、市民活動センター、 まなびの郷みずほ、高齢者福祉センター
			39,064	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 2,000	▲ 5,000	▲ 12,000	▲ 14,000	▲ 32,000
	実績	4,436	776			
見直し後 決算額		46,861	41,019			
うち一般財源		43,500	39,840			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 令和4年に解体予定であった三木幼稚園について、建物を含めた売却等を検討しているため、令和5年度以降に延期。 今後、三木幼稚園については、境界確定や分筆作業などが完了し、速やかに売却等の手続に入るものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 三木幼稚園について、土地建物の売却に向け、不動産鑑定、測量及び境界確定などを実施した。 勤労者体育センターについては、廃止することに伴い、条例を改正した。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針	財政健全化実施プログラムの名称等
2(1) 支出の見直し（収入の確保）	9 ごみ処理関連施策の見直し（ごみの有料化など）

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
一般廃棄物処理手数料（ごみ処理手数料）	市民生活部	収入	114,983	他の手数料と併せて別途検討	料金の値上げ（受益者負担の増）	財政健全化実施プログラム1-3「各種使用料、手数料及び占用料の見直し」の中で、他の料金と併せて見直す。
	環境課		114,983			

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	財政健全化実施プログラム「各種使用料、手数料及び占用料の見直し」と併せて検討			
	実績	-			
見直し後	決算額				
	うち一般財源				
取組内容 (今後の方針)	見直し年度	令和5年度～			
		<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理手数料については、次期ごみ処理施設の運用開始に合わせた改定を検討。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	10	時代の変化に応じた高齢者福祉施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 敬老祝金	健康福祉部	支出	16,633	8,500	縮小	敬老祝金として【77歳=7千円、88歳=1万円、99歳=2万円、100歳以上=5万円】を対象市民に支給しているが、これを次のとおり見直す。 「77歳（喜寿）」は、本市の平均寿命（男性81.5歳、女性87.6歳）を下回っていることから廃止。「88歳（米寿）」は、本市の平均寿命を上回る一目的めざすべき長寿年齢として存続。「99歳（白寿）」は、翌100歳での支給と連続することから廃止。「100歳（百寿）以上」は、節目支給としての意味合いがなくなることから、100歳到達時の1回のみでの支給に縮小。 ただし、男女最高齢者に対する市長の表敬訪問並びに花束及び記念品の贈呈を新たに実施し、市民の代表として高齢者に敬老の意を表する。
	福祉課		16,633	8,500		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 9,500	▲ 9,500	▲ 9,500	▲ 9,500
	実績	▲ 9,893			
見直し後					
決算額		6,740			
うち一般財源		6,740			
取組内容 (今後の方針)		見直し年度 令和5年度～ ・計画どおり縮小を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	11	外出・移動支援施策及び公共交通確保施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 高齢者への温泉施設等利用助成	健康福祉部	支出	8,731	0	廃止	70歳以上の市民に対して温泉施設で使用できる助成券（1回300円×10枚=3,000円分）を配布してきたが、利用したくとも個々の事情により利用することができない市民もおり公平性に欠けること、また、市内にさまざまな施設があるにもかかわらず温泉施設等の利用にのみ助成することは公平性に欠けることから、これを廃止する。
	福祉課		8,731	0		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 11,000	▲ 11,000	▲ 11,000	▲ 11,000
	実績	▲ 8,731			
見直し後	決算額	0			
	うち一般財源	0			
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は計画どおり廃止を実施。 復活を求める請願が市議会で採択され、2年間に限り以下のとおり実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 1回300円×10枚=3,000円分 自己負担額 500円 令和7年度 1回300円×5枚=1,500円分 自己負担額 500円 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	11	外出・移動支援施策及び公共交通確保施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 運転免許証自主返納者への公共交通利用助成券の交付	健康福祉部	支出	19,230	2,000	縮小	運転免許証を自主返納した65歳以上の市民に対し10,000円相当の公共交通利用助成券を毎年度交付しているが、運転免許証の有無により受けるサービスに不公平がある。 運転免許証を自主返納することにより外出するきっかけがなくなり、社会参加の機会が減ることを緩和するため、返納後の1回に限り交付する。
	福祉課		19,230	2,000		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 14,000	▲ 14,000	▲ 14,000	▲ 14,000
	実績	▲ 16,280			
見直し後	決算額	2,950			
	うち一般財源	2,950			
取組内容 (今後の方針)	見直し年度	令和5年度～			
		・計画どおり縮小を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	11	外出・移動支援施策及び公共交通確保施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
3 北播磨総合医療センターへの 通院時の神戸電鉄利用補助金	都市整備部	支出	653	0	廃止	利用者数が少なく、費用対効果に見合わないことから廃止する。
	交通政策課		653	0		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 1,000
	実績	▲ 343			
見直し後	決算額	310			
	うち一般財源	310			
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり廃止を実施したため、補助金に関しては決算額は0となった。 ・ただし、補助金制度の廃止に伴い、神戸電鉄樫山駅に設置していた乗車証明書発行機を撤去し、電気設備の原状復帰を行う必要が生じたため、当該原状復帰にかかる手数料を支出した。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	12	生活の支援施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 軽度生活支援事業	健康福祉部	支出	1,177	0	廃止	65歳以上の高齢者のみの世帯の生活を支援するとともに、健康な高齢者の担い手づくりを目的として、家周りの手入れ（植木の剪定や庭掃除、障子・ふすま貼りなど）を三木市シルバー人材センターに依頼する場合に、市がその費用の一部（上限8,000円）を助成している。 しかしながら、三木市シルバー人材センターが会員数の減少などにより事業の継続が困難となってきたこと、また、対象世帯が植木や庭の保有者である特定の者に偏りがあることから、事業を廃止する。
	介護保険課		1,177	0		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 1,200	▲ 1,200	▲ 1,200	▲ 1,200
	実績	▲ 1,177			
見直し後	決算額	0			
	うち一般財源	0			
取組内容 (今後の方針)	見直し年度	令和5年度～			
		・計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	13	障害者福祉施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 障害者馬術大会開催補助金	健康福祉部	支出	0	80	継続 (手法 の見直 し)	市内において開催される全国障がい者馬術大会のみならず、市内において開催される他の障がい者の全国大会にも支援できるよう見直す。 なお、市の補助金額については、兵庫県の同大会への助成金額（上限80,000円）と同額とする。
	障害福祉課		0	80		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 120	▲ 120	▲ 120	▲ 120
	実績	▲ 120			
見直し後					
決算額		0			
うち一般財源		0			
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該補助金を下記のとおり見直し。 <ul style="list-style-type: none"> ①補助対象の範囲を拡大 馬術大会のみ→全てのスポーツ ②補助対象となる条件を追加 全国大会と同等かつ、公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会（以下協会）から同大会への補助があること。 ・ 令和5年度においては対象の申請がなく、馬術大会は開催されていたが、協会からの補助を受けていなかったため対象外となった。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	13	障害者福祉施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
3 特別支援学校就学児童の保護者への就学奨励金（養護児童就学奨励金）	健康福祉部	支出	2,134	0	廃止	制度創設当時（昭和54年）と比較し、近年は障害児の自立及び社会参加を見据え、多様で柔軟な就学の仕組みとして、小中学校における通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある「多様な学びの場」が用意されていることから、奨励金の目的が失われている。 また、経済的な負担軽減は、別途、就学奨励費として給付されていることから、廃止する。
	子育て支援課		2,134	0		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 2,000
	実績	▲ 2,134			
見直し後	決算額	0			
	うち一般財源	0			
取組内容 (今後の方針)		見直し年度 令和5年度～ ・計画通り廃止を実施			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	14	観光施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 古民家の利活用の推進 (古民家ウェディング等のイベント)	産業振興部	支出	429	0	廃止	古民家ウェディング等のイベントを令和3年度までに4回開催し、古民家の新たな活用方法が周知でき、貸館等の利用が増えるなど目的を一定程度達成したため、令和4年度以降の事業を廃止する。
	観光振興課		429	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 500	▲ 500	▲ 500	▲ 500	▲ 500
	実績	▲ 429	▲ 429			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	14	観光施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 あじさいフローラみきのオープニングセレモニー	産業振興部	支出	571	0	継続 (手法 の見直し)	令和4年度以降に開催予定のあじさいフローラみき（三木ホースランドパーク内）のオープニングセレモニー（あじさい祭り）について、費用のかからない手法による開催とする。
	観光振興課		571	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 700	▲ 700	▲ 700	▲ 700	▲ 700
	実績	▲ 571	▲ 571			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・あじさい祭りの開催にかかるイベントについては、指定管理者の業務として実施。	・あじさい祭りの開催にかかるイベントについては、指定管理者の業務として実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	15	農業振興施策（補助金等）の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 山田錦グレードアップ支援補助金	産業振興部	支出	13,814	0	廃止 (転換)	山田錦の品質向上を目的としていたが、生育環境の違いがあり、生産者の営農努力と品質向上が必ずしも一致しないため、農業の課題である後継者不足、農地の集団化へ舵を取り、山田錦を含む農業の生産環境の改善・支援に転換する。
	農業振興課		13,814	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 13,000	▲ 13,000	▲ 13,000	▲ 13,000	▲ 13,000
	実績	▲ 13,814	▲ 13,814			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から山田錦グレードアップ支援補助金を廃止し、優先すべき農業課題である担い手（後継者不足）対策として「農業振興プランナー」を農業振興課に配置（雇用）した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に引き続き、優先課題である担い手（後継者不足）対策として「農業振興プランナー」を農業振興課に配置（雇用）して、相談対応を行った。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	16	社会教育の在り方の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 社会教育推進委員謝礼	市民生活部	支出	582	0	廃止	社会教育推進委員の活動に対し、報償として図書カード（3千円分）を配布していたが、謝礼を支払っている近隣自治体がほとんどないこと、また、住民学習は住民主体で実施するものとの理由から受け取りを拒否されるかたもいることから、廃止する。
	人権推進課		582	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 500	▲ 500	▲ 500	▲ 500	▲ 500
	実績	▲ 582	▲ 582			
見直し後 決算額		0	0			
うち一般財源		0	0			
取組内容 (今後の方針)		・ 計画どおり廃止を実施。	・ 計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	17	就学・通学の支援に係る各種施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 準要保護児童・生徒への就学 援助	教育振興部	支出	69,830	63,000	縮小	準要保護児童・生徒に対し校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム代等を実費支給（上限なし）しているが、国の基準を基に上限額を設定する。
	学校教育課		69,830	63,000		

（単位：千円）

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000
	実績	▲ 26,682			
見直し後	決算額	43,148			
	うち一般財源	43,148			
取組内容 （今後の方針）		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり縮小を実施。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、2学期・3学期分の給食費の無償化を実施。それに伴い、学校給食費の就学援助が不要となったため決算額が大きく減少している。 <p>【無償化による影響額】 小・中学校 16,440千円</p>			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	17	就学・通学の支援に係る各種施策の整理、見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 中学校自転車通学者への自転車保険補助金	教育総務部	支出	321	0	廃止	自転車通学の生徒に最大1,000円の補助を実施してきたが、現在では兵庫県条例による自転車保険の加入義務化が世間一般に浸透し、また、自動車保険、火災保険、クレジットカード損害保険などの附帯保険として割安で加入できる保険商品市場も整ってきているため、廃止する。
	教育施設課		321	0		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 400	▲ 400	▲ 400	▲ 400
	実績	▲ 321			
見直し後 決算額		0			
うち一般財源		0			
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <p>・計画どおり廃止を実施。</p>			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	18	就学前教育・保育の応益・応能負担の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 認可外保育所保育料軽減補助金	教育振興部	支出	11,871	9,500	縮小	補助上限額を国の給付額に合わせて見直す。 ・3～5歳児：月額上限40,000円⇒月額上限37,000円、 ただし1号認定相当児は、月額上限25,700円 ・0～2歳児：利用料の2分の1・月額上限30,000円⇒月額上限21,000円
	教育・保育課		11,871	5,800		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 4,200	▲ 4,200	▲ 4,200	▲ 4,200
	実績	▲ 7,539			
見直し後	決算額	5,612			
	うち一般財源	4,332			
取組内容 (今後の方針)		見直し年度 令和5年度～ ・計画どおり縮小を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	18	就学前教育・保育の応益・応能負担の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 特定世帯の保育料軽減（ひょうご保育料軽減補助金）	教育振興部	支出	4,972	0	縮小	国基準とは別に定める所得階層別の市保育料を市独自で50%軽減した後、兵庫県補助事業の対象となる特定世帯については、そこから更に50%補助することで実質75%軽減としていたが、これを50%軽減に統一する。 (※効果額には、運用の変更による県補助金+2,000千円の増を見込む。)
	教育・保育課		1,745	0		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 5,000	▲ 5,000	▲ 5,000	▲ 5,000
	実績	▲ 7,550			
見直し後	決算額	0			
	うち一般財源	0			
取組内容 (今後の方針)	見直し年度	令和5年度～			
		・計画どおり縮小を実施。 (※効果額には、運用の変更による県補助金の増加分5,805千円を含む。)			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	19	国や県等の事業見直しに伴う市事業の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
1 老人クラブ活動強化推進事業 補助金	健康福祉部	支出	5,160	4,800	縮小	老人クラブの活動に対し1クラブ当たり5,000円/月を補助しているが、兵庫県の県政改革方針により県の補助金額が500円/月分減額されるため、4,500円/月に減額する。 県においては令和5年度からの見直しを目途に検討していることから、市においても同年度からの見直しを検討する。
	福祉課		3,096	3,000		

(単位：千円)

		R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 400	▲ 400	▲ 400	▲ 400
	実績	▲ 396			
見直し後	決算額	4,500			
	うち一般財源	2,700			
取組内容 (今後の方針)		<p>見直し年度 令和5年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県の県政改革方針により、県の補助金が500円減額される予定だったが、減額ではなく、補助金の対象となる新たな枠組みの活動内容に対する助成となったため、市においても県に合わせ新たな枠組みを設置して実施。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	19	国や県等の事業見直しに伴う市事業の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
2 高齢者等住宅改造助成金	健康福祉部	支出	5,642	2,000	縮小	住宅のバリアフリー改修の助成金については「一般型（要介護認定なし65歳以上）」と「特別型（要介護認定・要支援認定あり）」があるが、「一般型」については予防的なバリアフリー化のニーズが低下していることから、兵庫県が県政改革により助成を廃止することに合わせて、市も廃止する（「特別型」の助成は継続）。
	介護保険課		2,822	1,000		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 2,000	▲ 2,000
	実績	▲ 2,333	▲ 2,445			
見直し後 決算額		977	753			
うち一般財源		489	377			
取組内容 (今後の方針)		・「一般型（要介護認定なし65歳以上）」について、計画どおり廃止を実施。	・「一般型（要介護認定なし65歳以上）」について、計画どおり廃止を実施。			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	19	国や県等の事業見直しに伴う市事業の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
3 特定不妊治療費助成金	健康福祉部	支出	3,761	0	廃止	特定不妊治療が令和4年度から保険適用対象の診療となり、医療保険制度による負担軽減が図られるため、国や県の同助成金が廃止される。 国や県の随伴（上乗せ）で行っていた市の助成も併せて廃止する。 ※令和4年度は令和3年度中の受診者への助成が一部残る（約100万円）。
	健康増進課		3,761	0		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 4,000	▲ 5,000	▲ 5,000	▲ 5,000	▲ 5,000
	実績	▲ 2,202	▲ 3,761			
見直し後 決算額		1,559	0			
うち一般財源		1,559	0			
取組内容 (今後の方針)		<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から特定不妊治療を開始し、令和4年度に県から助成決定を受けた12組に対し、助成金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から特定不妊治療を開始した方が、令和4年度末に県へ申請し助成決定を受けた場合は、令和5年度に助成金を交付予定であったが、申請実績はなかった。 当該助成金については、令和5年度をもって計画どおり廃止を実施。 			

令和5年度「三木市財政健全化実施プログラム」取組実績（個票）

計画の基本方針		財政健全化実施プログラムの名称等	
2	支出の見直し	19	国や県等の事業見直しに伴う市事業の見直し

本プログラムの見直し対象事業及び見直しによる効果額等						
対象の事業等	所管部署	分類	見直し前(R3)	見直し後	見直し 分類	見直しの内容
			決算額 うち一般財源	見込額 うち一般財源		
4 後期高齢者医療制度対象者の 人間ドック利用助成金	健康福祉部	支出	2,508	600	縮小	兵庫県後期高齢者医療広域連合の人間ドック補助金が段階的に減額され、令和6年度をもって廃止されることに合わせて、市も令和4年度から段階的に縮小する。 令和6年度以降については、他の補助対象とならない場合は廃止を含め検討する。
	医療保険課		876	200		

(単位：千円)

		R4	R5	R6	R7	R8
効果額	計画	▲ 400	▲ 400	▲ 800	▲ 800	▲ 800
	実績	▲ 343	▲ 504			
見直し後 決算額		1,803	1,344			
うち一般財源		533	372			
取組内容 (今後の方針)		<p>助成金の減額を次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北播磨総合医療センター 1泊2日 40,000円→30,000円 日帰り 24,000円→18,000円 他の医療機関 1泊2日 20,000円→15,000円 	<p>助成金の減額を次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北播磨総合医療センター 1泊2日 30,000円→20,000円 日帰り 18,000円→12,000円 他の医療機関 1泊2日 15,000円→10,000円 日帰り 12,000円→9,000円 脳ドック 12,000円→9,000円 <p>令和6年度から健康診査補助金の対象となったため、医療機関・受診コースに関わらず、課税世帯は5,000円、非課税世帯は6,000円の助成を行う。</p>			

三木市財政健全化計画 取組実績報告書

令和5年度

2024（令和6）年8月

発行 兵庫県三木市

作成 三木市 総務部 経営管理課

〒673-0492 兵庫県三木市上の丸町10番30号

TEL 0794-82-2000（代表）